

## コープかがわの 環境への取り組み

美しい環境のもとで自然と共生して心豊かに暮らすこと、次世代へ豊かな環境を引き継いでいくことは、私たちみんなの願いです。コープかがわは、「想いを言葉に、言葉をかたち」の理念のもと、組合員さんとともに環境保全活動を推進し、資源循環型の持続可能な社会を目指します。

そのためのアクションのひとつとして、家庭の生ごみを微生物によって分解して堆肥化する「ダンボールコンポスト」の普及啓発活動に取り組んでいます。

## 美しい郷土をつくるために 私たちにできること。

# ダンボールコンポストで、 生ごみを減らそう！

### ダンボールコンポストに 期待できること

毎日出る生ごみの量を考えてみてください。収集された生ごみの焼却には膨大なエネルギーが要りますし、二酸化炭素を排出します。したがって、生ごみを減らすことは、二酸化炭素の排出を削減し、温暖化防止に寄与することにもなるのです。

また、ダンボールコンポストで堆肥化して土に戻すことで、養分を循環させることができます。すくしい肥料になりますから、楽しみながら取り組みますよ。ごみ出しの回数が減ることもうれしいですね。

## 市民による 循環型社会づくりを

丸亀市ではダンボールコンポストを推進するため、資材の助成等を行うとともに、コープかがわと協働で学習会を開催しています。目的はもちろん生ごみの減量化ですが、この取り組みが市民の皆さんに広がることによって、循環型社会の実現につながればと願っています。



丸亀市生活環境部  
クリーン課  
徳永さん & 高山さん



## 学習会を開催しました

丸亀市の飯山北コミュニティセンター生活環境部の呼びかけで、ダンボールコンポストの学習会が6月14日、7月19日に開催され、地域の皆さんが参加しました。3回目を9月13日に予定しています。

初回は実物を見ながらダンボールコンポストの進め方を学習。そして、皆さんがダンボールコンポストの資材を持ち帰り、生ごみを投入して堆肥づくりにチャレンジしています。



初めて見る  
ダンボールコンポストに  
興味津々。

2回目の学習会では、実践中の皆さんがコンポストの中身を容器に入れて持参し、香川先生が「水分量が足りないですね」「固形物が残っていますね」など、状態をチェックして対処方法をアドバイスしました。

皆さんは引き続きダンボールコンポストを実践し、3回目の学習会では、再度コンポストの中身を持ち寄って状態を確認し、堆肥の熟成と使用方法について学ぶ予定です。

ダンボールコンポストは「効果を確認できる、役に立つ、楽しめる」ため、続けやすいと思います。資材が手に入れやすいのもいいですね。



学習会の講師  
香川 幸代先生

香川県温暖化防止活動推進員。自らダンボールコンポストを実践して8年目の経験を活かし、普及活動に活躍されています。



## 見て・触れて実感！ 学習会って、おもしろい！



香川先生お手製のカードを使っ  
ポイントが解りやすく  
説明してくれます。



参加者に配られる  
モニターカード。

| 項目       | 内容 |
|----------|----|
| 生ごみの種類   |    |
| 生ごみの重量   |    |
| 生ごみの温度   |    |
| 生ごみの状態   |    |
| 生ごみの投入回数 |    |
| 生ごみの投入時間 |    |
| 生ごみの投入場所 |    |
| 生ごみの投入方法 |    |
| 生ごみの投入回数 |    |
| 生ごみの投入時間 |    |
| 生ごみの投入場所 |    |
| 生ごみの投入方法 |    |

初めのうちは、生ごみを入れた日、種類、重量、変化の様子や温度をモニターカードに記入します。記録することで、どのくらいの成分量を入れたらどんな状況になるかが把握できます。

あまり根詰めて  
やらないように。  
数日休止しても  
いいですよ。  
(香川先生より)

自分のは水分量・養分とも  
不足しているとわかりました。  
米の研ぎ汁を入れて  
がんばってみます。

飯山北コミュニティの  
生ごみは確実に減っているはず！

生ごみの量が激減して最初は楽しかったのですが、固形物が残るようになり、温度も上がらずで、疲れ気味です。

参加者の  
お悩み



学習会のご案内は  
ウラ面をご覧ください。



コープかがわエコ基金とは

香川県内の環境保全の活動をコープかがわの組合員と地域の環境活動団体とともに推進し、美しい郷土香川づくりに寄与することを目的としています。